

令和元年度 第1回天王寺区教育会議（議事要旨）

日 時：令和元年9月26日（木）19時～20時15分

場 所：天王寺区役所 講堂

出席者：[学校協議会（五十音順）]

大村委員（夕陽丘中）、小野委員（生魂小）、真野委員（桃陽小）、米川委員（天王寺小）

[区政会議子育て・教育班（五十音順）]

井川委員、出水委員、一本松委員、頓名委員、平嶋委員、福永委員、山崎委員

[学校]三木校長（大江小）、中務校長（夕陽丘中）

[区役所]西山区担当教育次長、吉村区教育担当部長、糸井区教育担当課長、渡邊区教育担当課長代理

傍 聴：なし

○今年度の教育に関する取組について、糸井課長より説明（写真・動画も使用）。

○委員意見及び回答

➤イノベーション人材育成事業について

・中学校によって取組に偏りがあるのでは。他校の子どもや保護者も参加できる機会を与えてはどうか。

→天王寺中学校では職業体験を行っていないので、代替の取組と位置付けている。

・天王寺中学校の職業講話で関西電力の方の話を聴いた。平日の昼間だったが、大人も楽しめる大変有意義な取組であった。

・全員が体験できる事業に公的資金を投入してもらいたい。

→区役所で区内中学校の生徒を対象に事業を行っていたが参加者が少なく、各中学校での取組を支援する形に見直しを行ってきた。資料には区役所が支援している取組を掲載しているが、この事業と並行して、各中学校においてキャリア教育の取組は実施している。

➤スクールカウンセラー事業について

・さまざまな良い取組をしているが、不登校の子どもにもっと目を向けてほしい。不登校の子どもはずっと不登校という問題がある。学校へ行けなくても、居場所は学校だけではない、他の方法でも生きていけると感じられる事業を考えてほしい。

→不登校に関しての相談も受け付けている。また、「こどもの居場所等における学び・生活サポート事業」において、民間事業者の居場所につなげ、学校に通えるようになることを考えている。

➤グローバル人材育成事業について

・良い取組をしていると思うが、あまり知られていない。保護者に如何に伝えていくことが大切である。子どもは多くの情報を把握できる環境にあり、我々が思っているより若年化している。異文化交流についても低学年にも広げてはどうか。

・区内には多くの高校があり、区への外国人観光客が増えているので、学生が観光ボランティアとして活動してもらえば、高校生の語学力も身に付く。

→広報紙やホームページ、学校を通じて子どもにチラシを配付するなどの情報発信に取り組んでいるところであるが、保護者に伝わるようなPR方法も必要と考える。グローバル人材育成事業については、区役所としても低学年の保護者の関心が高いと感じているので、低学年からの取組について検討したい。また、ジュニアクラブ事業に高校生も参

加しているが、高校との連携について考えたい。

➤**天王寺区ジュニアクラブ事業について**

- ・ジュニアクラブ事業やグローバル人材育成事業は、学校ではできないのか。
→学校で行えば全員が参加できるようになるが、各学校での取組や教育方針があるので、教育行政連絡会や校長会等で学校長の意見を聞きながら検討したい。

➤**こどもの居場所等における学び・生活サポート事業について**

- ・もっと参加人数を増やしてほしい。
- ・不登校で家に引きこもりになって、居場所に来ている子どもはいるのか。
→しんどい子を見つけて、居場所や学校での支援につなげるようにしたい。現時点では居場所にあまり子どもが集まっていない状況なので、居場所のPRに努め、支援が必要な子どもの参加を促していきたい。

➤**民間事業者を活用した中学生学習支援事業について**

- ・月に1万円で塾に通えるのは安い。参加人数が少ないのでは。周知方法はどうか。
→元々塾に通っている子どもが多いこともあり参加者数が定員を下回っている。周知については、ホームページ等での広報や、年度末には区内市立小中学校に通う次年度の対象者あてにチラシを個別に配付している。

➤**防災教育の取組について**

- ・地域や学校での防災の取組については、子どもや高齢者も参加し地域での交流も促進され、より多くの地域の人に参加してもらえよう取り組むことが大切である。
→区役所では今後も地域ごとに偏りが出ないように訓練を行っていくが、地域での自主的な訓練や防災の取組も重要なものと考えており、地域の取組について、開催への支援や周知など協力できることは積極的に協力していく。